

第37号



2014. 4月

かざぐるま

発行 城里町社会福祉協議会 ☎ 029-288-7013 FAX 029-288-7021 ホームページ <http://www.shirosato-syakyo.com>
編集 広報ボランティアグループ



福祉体験学習

常北中学校1年生《避難所運営ゲームHUG(ハグ)》

2月28日(金)、NPO法人茨城県防災士ネットワークと社会福祉協議会の協力により常北中学校の体育館にて、1年生が《避難所運営ゲームHUG(ハグ)》と言うカードを使った避難所運営の仮想体験を行いました。設定は城里町に大地震が発生し体育館に近隣の方々がぞくぞくと避難して来ている状況での避難所運営。いろいろな問題が次々と起きるなか、最初は戸惑い



おいしいカレーをいただきます～す

た。だきまし
トのカル
ーでおい
しくいた
だきまし

ながらも相談し合って避難者の体調(ケガ・年齢等)を考慮して、避難スペースを決めていきました。最後に日本赤十字奉仕団茨城県支部城里地区の皆さんに協力を頂き、災害時に食べるご飯(袋で炊いたご飯)をレトルトのカレーでおいしくいただきました。

七会小学校5年生《シニア体験・車イス体験》

2月20日(木)、七会小学校5年生がエコキャップ運動で集めたペットボトルのフタを持って、社会福祉協議会へ福祉体験に来ました。児童達の元気な挨拶があり、なごやかな雰囲気の中で福祉体験学習が始まりました。最初、社会福祉協議会の仕事内容のお話を聞いて、次にボランティアグループ「ほほえみの会」の協力を得て、シニア体験・車イス体験を行いました。

シニア体験は、ゴーグルを掛け、手足には重りを付けて歩く事で高齢者の日常生活を体験しました。車イス体験では、車イスの基本操作と車イス利用者の気持ちを理解する為に、車イスに乗って外出したり押ししてみたりする体験もしてみました。



ほほえみの会の皆さんと記念撮影

福祉体験の感想



リーダーとして

常北中学校1年 中野 ^{りく} 玲空

僕はこのHUG体験をリーダーとして参加しました。

打合せの時に内容を聞いてみて、簡単そうだなと思っていましたが、実際にやってみるととても大変でした。班のメンバー全員が言いたい放題で、最初はまとめることが出来ませんでした。

ですが、しばらく行っているうちに、班もまとまってきた、手際良くできるようになって、最後は楽しく行う事が出来ました。

このような活動を災害の時には、本当の人がいるなかで手際よく行っているおかげで、安心して避難できるんだなと思いました。

僕はこれから、いろいろな場面で自分にできることをやっていきたいです。



社会福祉協議会に行って

七会小学校5年 川村 千尋

私たち5年生は、社会福祉協議会に学校で集めたペットボトルキャップを届けに行きました。キャップは、約20人分のワクチンが買える量が集まりました。約20人分の命を助けることができるなんて、捨ててしまえば有害なCO₂がでるだけなのに、とてもいい運動をしたなと思いました。

社会福祉協議会では町民が集めたキャップをエコキャップ推進協会に送ってくれます。他には人々が住みやすくなるような仕事をしたりしているそうです。

驚いたことには、茨城県は6番目に高齢者が多いそうです。社会福祉協議会の仕事は大変だなと思いました。体験をしてよかったです。



HUG体験を通して

常北中学校1年 富田 竣也

僕にとって避難所HUG体験は初めての経験でした。記録係として事前研修も難しくてどうやるんだろうと不安でした。

活動が始まると避難する方々の特徴をとらえて、どこに誘導するのか考えることが大変でした。はじめは、避難者の読み上げがゆっくりでしたが、だんだん速くなってついていくのも大変でした。でも友達とみんなで協力して話し合ったり考えたりしながら楽しく活動できました。

HUG体験でこんなにも運営が大変なんだから、実際の災害の時にはもっと大変だろうと思います。もし、災害がおきて避難にかかわることがあったら、自分なりに出来る事を積極的にやろうと思いました。



シニア体験

七会小学校5年 伊藤 ^{りん} 凜

ぼくは、重りをつけて歩いた時、お年寄りの人は毎日この重みを感じているのだなと思いました。速く動こうとしても重りをつけた右足が動かなくて困りました。特に、階段ではゴーグルもかけていたので、段差がとても大きく感じて怖かったです。外を歩くときは、友達が補助してくれたので安心して歩くことができました。重りをつけた手で字を書いたら下手になってしまいました。

ぼくは、これからお年寄りの人がいたら、その時に助けてあげられたらいいなと思います。今日の体験は一生忘れないようにしたいです。そして友達や家族にもこのことを教えてあげたいです。



大変だけど楽しかったHUG体験

常北中学校1年 坪井 ^{れい} 滯

私は、今回初めてHUG体験を行いました。リーダーとして事前研修をしましたが、始めるまでとても不安でした。説明を聞いても、資料を読んでも全く分からなかったからです。でもいざ始めてみると、話し合いをしながら避難してきた人の場所を決めたことが楽しかったです。自分の意見を発表したり、たくさんでてる意見をまとめるのは大変でした。本当に避難所に行って活動している人達がどれだけ大変かがよく分かりました。とても大変だったけど、みんなで楽しくできたのは、とてもよかったです。今後、避難所に行く事があったら、今回やったことを活かして手伝いをしてみたいです。



車いす体験

七会小学校5年 仲田 ^{だい} 大希

社会福祉協議会に行って一番心に残っているのは、車いす体験です。

ぼくは、友達を乗せて押してあげました。車いすを押すとき坂がとても重く大変でした。土の上はタイヤが進まず苦労しました。じゃり道はガタガタしました。すれ違う時は、待ってなければならぬし、エレベーターに乗る時も一台ずつだったし、きゅうくつでした。レールでガタンとしたので、びっくりしました。車いすを動かして出かけるのはとても大変なことなんだと思いました。

町で車いすの人が困っていたら助けてあげたいです。



きょうと生きる

郵便一筋45年 地域の信頼も厚く

萩谷 健さん・きよ子さん(阿波山)

国道123号線、阿波山十字路の信号を少し通り過ぎると、左手に見慣れたオレンジ色の郵便局の看板が目に入ってきます。その郵便局の裏側に、萩谷健さんの立派な住まいがあります。

健さんは昭和27年水戸電報電話局に入社、水戸勤務が続いた後、高萩勤務を経て、昭和46年9月に阿波山郵便局長に就任、平成9年退職するまで、45年間郵便一筋に歩んでこられました。もともと萩谷家は祖父、曾祖父と代々阿波山の郵便



萩谷さんご夫妻

局長を務めていました。健さんは6代目の局長に当たり、現在は一緒に暮らす長女の五十嵐由美子さんが7代目の局長をしています。

郵便局といっても、初めは電報や電話交換の仕事もあり、電話の普及にも尽力、農村地域の農集電話では、桂村の普及率が全国第1位になったそうです。その陰には、常に明るく爽やかに振る舞われる、きよ子夫人の支えがあったからです。

昭和55年11月には、強盗に入られたことがありました。犯人はジャックナイフをかざし、客を人質にとり、現金を要求してきました。その時、健さんが入り口近くにあった消火器を犯人めがけ噴射、気転をきかせたきよ子夫人の110番通報で、駆けつけた警官によって犯人は逮捕、客も無事だったそうです。局長を退職して、まもな

く近くの高根山大山寺の総代となりました。御前山県立自然公園の区域内にある大山寺の境内には、樹齢数百年といわれる樹木が数多く繁っています。そんな広い境内や駐車場を、健さんはきよ子夫人と2人で、毎日、朝早くから落葉の掃除や草取りなどをして感謝されています。

平成18年には、高年者クラブ・阿波山一和会の会長を引き受け、30名ほどの会員の親睦、健康増進にも一翼を担っています。

一方、きよ子夫人は民生委員を平成7年より9年間にわたり務めあげ、地域の信頼も抜群です。また、剣舞や民舞をそれぞれ15年近くやっており、桂聖明園やナザレ園(那珂市)などで踊りを披露して喜ばれています。

また地域の夏祭りの役員もすすんで行い、自宅をその準備の場として提供するなど、夫妻ともども地域に貢献し、なくてはならない存在として輝いています。

つくしの四季

3月12日(水)につくし作業所で職員5名と仲間6名で借楽園の梅まつりに行ってきました。作業所として行くのは初めての場所で、皆楽しみにしていました。天候にも恵まれて、3月としては暖かい陽気でした。

梅の様子は、日当たりの良い所や、梅の木の種類によつては満開のものもあり、全体的にはまだ見頃には早い感じでした。

平日にもかかわらず、県外からの観光客が多く来ていました。また千波湖から水戸市街が見渡せる所の眺めが良くて、時折電車が通り抜けていく様子がよかったです。



実は僕自身も借楽園へ行ったのは生まれて初めてで、貴重な一日でした。これから本格的に春が訪れ、暖かい日が増えてくるのでたくさん外に出て行きたいと思います。(加藤直)



通所生の感想

好文亭、とても階段がこわかったです。記念写真がたくさん撮れて良かったです。(栗林祐一)

体力作りに水戸にある借楽園に行き梅を見ながらお散歩に行つて来ました。まだ梅は蕾でしたが、珍しい黄色の梅を見ました。梅大使と写真を撮ったり、好文亭の中を見学して来ました。降りる時の階段は、急な階段だったので少し怖かったです。(阿久津礼子)

地域ケアシステム公開講座

次に、城里交番所長の湯坂さんから車

平成26年3月8日(土)城里町社会福祉協議会主催の地域ケアシステム推進事業公開講座がコミュニケーションセンター城里に於いて開催されました。最初はみんなで守ろう地域の安全性、地域ぐるみで安心なまちづくりをスローガンに、笠間警察署生活安全課の上遠野さんより県内の交通事故の現況について説明してもらいました。年配者の死亡事故、特に70歳代が多いこと、夜間に集中していて運転者からみて右から左への横断中に起こっていることなど細かに解説してもらいました。



湯坂さん(左)と上遠野さん(右)

のシートベルトやオートバスのヘルメットの重要性、また横断中の後方確認の大切さなど、交通ルールの守るべき基本を話してもらいました。

そのあと、上遠野さんに振込詐欺の被害にあわないための注意を話してもらいました。振込詐欺の大口として、最初の電話は「風邪をひいた」と声の違いを説明し、何気ない話の中に友達の名前などをさりげなく入れ、本人と思わせて切る。そして後日、また電話をかけ本題に入る、という手順を踏むようです。そして、「電話番号を変えた」に始まり、保証人になって失敗した、会社のお金を使い込んだしまった、交通事故の示談金が必要なんだと、もっともらしい理由を話してくるそうです。銀行側に悟られないよう、いろいろな注意を与え、それを繰り返す方だそうです。

今年度は約15億円の被害があり、前年度より大幅に



茨城県警音楽隊

拡大しているのので十分気をつけて欲しいとのことでした。参加された方々は、心の中では「自分は絶対に大丈夫」という方もいるとは思いますが、現実にはかなり難しい問題なのでしっかりと対処方法を学ぶことが大切であると思いました。そのあとアトラクションがあり、茨城県警察音楽隊の迫力は見事でした。来場者のことを考えて懐メロを多く演奏していただき、そのなつかしさに思わず口ずさむ人も出て、非常に良い雰囲気のまま終了しました。

在宅福祉サービス研修会

3月15日(土)城里町在宅福祉サービス協力会員7名で、笠間市在宅福祉サービスセンター『ほっとパル・かさま』の定例会を見学に行ってきました。

在宅福祉サービス※を利用する側の立場を考慮しながらお互いが決めたルールを守る事、長期間の利用をしてお互いに楽しい時間を過ごす事ができます。支援する側には、組織としての一定のルールを決め、思い込みや、役割以上の接し方をしないなど、失敗談を混じえて体験的な意見を聞くことが出来て、とても参考になりました。

城里町は、茨城県で6番目の高齢化率ですが、在宅福祉サービスを利用している方はまだまだ少ないのが現状です。現在は主に、病院送迎の移送サービスを利用している方が多数です。※在宅福祉サービスとは利用したい方



利用している方が多数です。※在宅福祉サービスとは利用したい方

○町内にお住まいの福祉サービスを必要とする方。○高齢者・障害者、介護保険を受けながらも利用できます。

協力できる方

○町内にお住まいの健康で社会福祉に関心のある方
○週に1日でも1時間でも活動に参加できる方等

サービスの内容

○移送・生活援助・子育て支援のサービスがあります。困った時には、まず社会福祉協議会へ相談して下さい。

新規ふれあいサロン

ふれあいサロンとは、住民同士が企画し、ともに運営していく仲間づくりの活動です。体操やレクリエーション活動を通し、楽しい時間を一緒に過ごしながら、介護予防をはじめ、人間関係の希薄化や社会からの孤立を解消していきます。

現在、城里町では47箇所です。会食や血圧測定、講話やゲームなど、それぞれのサロンによって内容は異なりますが、身近な公民館や集落センターなどで行うため、参加しやすいのが特徴です。また、外出する気力が生じるので、閉じこもり防止にも役立っています。

今回は、47箇所のサロンの中で、新規に立ち上げたサロン4箇所を紹介したいと思います。



津部本郷サロン

津部本郷公民館
毎月第3火曜日

9時30分から



磯野サロン

磯野公民館
毎月第2・4金曜日

9時30分から



安渡サロン

安渡農村集落センター
毎月第1木曜日

9時30分から



下坪サロン

旧坪小学校体育館
毎月第2・4月曜日

10時から



それぞれのサロンでは、皆様の日頃の暮らしを支える魅力のある活動展開をしていきます。

高久連カラオケ大会 胸熱く、思いを込めて熱唱する

3月3日(月) 高齢者クラブ連合会主催のカラオケ大会が、錫高野の桂老人福祉センターで午前10時から午後2時過ぎまで行われました。今回で18回目です。

参加者は歌う人(65名)応援する人で100名ほど。和室の大部屋に2つの長テーブルを合わせたものが7箇所。各箇所10名を超える参加者が体を寄せ合い座ります。机上には、手作りの惣菜、袋菓子、三段重ねの重箱には赤飯、コンニャクや油揚げの煮物が見えます。会場には談笑があり、無心に楽しむ雰囲気があります。あたたかも、昭和20年代に村々を巡った芝居小屋の様子



熱唱中



会場の様子

だ、と感想を述べる参加者もいます。違うのは、蓆が座布団になり、ふかし芋が赤飯に変わったただけだ。

歌は、時代と共に人の心に生き続けています。参加者の胸中には、幼年期や青春時代の心の歌があり、同じように今、心から歌いたい歌があるのでしよう。美しい着物に着替える者、かつての越路吹雪のようにドレスに身を包む者など、元氣、やる気を振り撒きながら会場を熱気に包んでいました。叶わぬ恋に涙することも、薄暗い酒場の路地をさまようことも、愛しい夫を待つことも、歌の中では自分のことのように思うことが出来ます。これが若さを保つ秘訣なのでしょう。参加者たちは皆、若々しく見えました。

手話を学ぶ

⑨ 笑顔で

「暖かい」
 やつと春めいて来ましたね。今回は今まで学習してきた手話を織り交ぜて、文章をやってみましょう。(今までに掲載した単語は語源(成り立ち)を省略します。ポイントは笑顔です。

今日は暖かいですね

「今日」「暖かい」と2つの単語を続けてします。

「今日」

これは私は今ここにいますという意味を表しています。



両手の手のひらを下に向けて並べ、少し下げます。(今も同じ手話です。2回手を下げると「現在」「今回」という手話になります。また、今を体の中心とすると体の後方は過去を表し、体の前方は未来を表します。)

「暖かい」



お腹のあたりから、両手をゆっくりすくい上げるように数回動かします。

「今日は暖かい」と「今は春です」は同じ手話です。話の流れ等で違いはわかりませんが、口の動き(口話を付けてあげると相手によく伝わります。

花見に行こう

「花見」「一緒に行く」と2つの単語を続けてします。

「花見」



① 桜

両手の手のひらを合わせ、手の位置を前後に変えながら右へ動かします。



② 見る

右手の人差し指を中指を立てて指先を前に向け、目から前に出します。

「(一緒に)行く」

これは体より前に出す事で行くという意味を表し、2指を使う事で一緒にを表しています。



両手の人差し指をくっつけて、前へ動かします。一人で行く時は、右手人差し指を伸ばし、前に出す事で表すことができます。又、前に出した手を自分の体の方に戻す事で「来る」という手話になります。

きれいな花だね

「きれい」「花」と2つの単語を続けてします。

「きれい」
 これは汚れがなく、滑らかな様子を表しています。



手のひらを上向きにした左手に右手の手のひらをのせ、右に滑らせます。美しい・素敵などという手話も同じです。

「花」

これは花のつぼみが開く様子を表しています。



両手の指を軽く曲げて向かい合わせます。その手を手首を軸にして互い違いに開きます。咲く・パフという手話も同じです。(すぐに使える手話辞典6000より引用)

しろさと②⑩
 うなぎ地蔵と竜潭淵
 りゅうたんふち

下古内にある横宿橋を渡って1km位の所にある藤井川。実はここに伝説があるんです。うなぎ地蔵と竜潭淵。清音寺にひときわ目立って美しく、まじめな小僧がいました。毎日どこからか赤飯を持ってきてご本尊にお供えしていました。



竜潭淵(りゅうたんふち)

水戸義公(黄門)が清音寺詣での帰りにこの辺りで鮎つりをされたとき、藤井川の水清く、竜がひそんでいるような深みに感動し、この淵を「竜潭淵」と名づけられました。その日大きなうなぎが釣り上げられ、腹を裂くと赤飯がでてきました。

この日から美男小僧は姿を消し、本尊の前に赤飯も見られなくなりました。あの小僧はうなぎの化身ではなかったかと言われ、村人はその供養のため地蔵を建てました。「うなぎ地蔵」とよば



うなぎ地蔵 きれ、今日に 至っています。

社協の仕事 ⑥

城里町地域活動支援センター

在宅の身体・知的障害者を対象に、作業訓練や、生活訓練の中から社会への適応性を高め、地域において住民の方々と共に生きがいを持って生活できるようにと願いながら活動しています。

活動内容

農作業、クッキー作り、配食サービス、園芸作業、紙すき作業、ラベル貼り作業、よさこいソーラン

通所対象者

城里町に居住する身体・知的障害者。原則として、就労の機会が得られない方で、様々な訓練・活動により、社会性の向上が期待できる方。

通所申請

城里町健康福祉課に申請書を提出。見学希望者は、城里町社会福祉協議会まで、城里町社会福祉協議会

城里町石塚1428-1
029-288-7013

日中一時支援事業

6歳以上18歳以下の身体・知的障害児へ下校後等の活動場所を提供するとともに、ボランティア等との交流を通して地域において自立する機会を確保します。

対象者

身体障害児・知的障害児・難病患者等

サービス提供日

月曜日から金曜日（国民の祝日及び8月13日～16日 12月27日～1月5日を除く）

サービス提供時間

午後3時から午後6時

利用料金

利用者の居住地により異なる（要問合せ）

申し込み

町健康福祉課にて決定通知後に申し込み受付となります。

福祉備品等の貸出

在宅介護支援やボランティア活動、福祉行事等のため短期貸出を行っています。

車イスの貸出

一時的に必要な方に貸し出します。

対象者

- 1 町内に住所を有し、在宅での生活を継続するため一時的に必要なとする方
- 2 身体障害者手帳をお持ちの方
- 3 地域福祉事業推進のため一時的に必要なとする団体
- 4 介護保険を利用していない方

貸出期間

原則1ヶ月以内

申込方法

利用許可申請書を提出
○車イス用福祉車両の貸出

外出に車イスを必要とする方を対象に、車イスに座ったまま乗れるリフト付きワゴン車を貸し出します。

対象者

町内に住所を有する車イス利用者

貸出期間

原則1日以内

使用料

無料（但し燃料代は利用者負担）

運転手

利用者で確保

申込方法

利用許可申請書を提出（運転手の免許証コピー添付）

シルバー人材センター

からのお知らせ

◆事務費が10%になります。平成26年4月1日から、センターの事務費が現在の7%から10%に変更となりました。これは、消費税の引き上げによるものです。皆様のご理解をお願いいたします。

◆1時間当たり料金の一部改正について
平成26年4月1日から、1時間当たりの料金が一部改正されました。

料金が改正された作業は次の通りです。
剪定作業
1時間当たり
800円～1,200円

↓1,000円～1,200円
1時間当たりの料金には脚立や剪定用のはさみ・バリカン等の備品使用料が含まれています。

樹木等の伐採作業
1時間当たり1,100円～
1時間当たりの料金には、チェーンソー等の機械使用料が含まれています。

屋内外の清掃
1時間当たり
700円～750円

洗濯等の家事作業等
1時間当たり
700円～750円
◆平成27年10月には、消費税が10%となるのが予定されています。

当センターでも、再度の事務費変更を予定しておりますので、皆様のご理解をお願いいたします。

平成25年度

赤い羽根共同募金運動 実績報告

《城里町社会福祉協議会》

自治会長はじめ、町民の皆様、企業・学校・団体関係の方々、ご協力ありがとうございました。お預かりいたしました募金は県共同募金会に送金し、助成額決定後、平成26年度当町の地域福祉向上のため活用されます。歳末助け合い募金は昨年12月に1人暮らし世帯など160世帯に給付いたしました。

赤い羽根共同募金

募金種別	募金寄附者	金額
戸別募金	425自治会	3,143,100円
法人募金	127団体・企業	895,000円
職域募金	18課・局	21,408円
学校募金	15校	269,287円
その他	個人・団体等	16,324円
合計		4,345,119円

歳末助け合い募金

募金種別	募金寄附者	金額
戸別募金	426自治会	2,097,800円
その他	個人・団体等	67,150円
合計		2,164,950円

わが町のさわやか元気さん 33

猿田あや子さん 91歳
上入野

しゃきつと背筋が伸びたきちんとした正座。そして艶やかな白髪。あや子さんは節分を迎えて91歳になられました。

ご家族は4人、息子さんご夫婦、お孫さんとの同居です。無病息災、足腰もしつかりとしたあや子さんは健康

久保田きくえさん 89歳
上青山

きくえさんは母屋に住み、同じ敷地内の別棟に住む娘さんご夫婦と暮らしています。24歳で結婚してご主人と共に60余年農業一筋、明けても暮れても農作業でし

たと述べられました。平成4年にご主人を亡くされた後も農業を続けました。「鋤、鍬を持つと体がしやんとするんですよ」と笑



そのものです。

健康法は毎日20分程の散歩と、入浴中に行う体操です。広いバスタブの中でゆ

顔で話してくれました。

3人の娘さんに恵まれ嫁いだ2人の娘さんも優しくしてくれるので、「私はストレスが全然ないんです」とこやかな表情でした。そして家の中より外が好きなので野菜作り、屋敷周りの草取りをしています。

食事はご自分でご飯だけ炊くと、別棟の娘さんがお惣菜を作り持ってきてくれます。「好き嫌いはありませんが肉を好み、豚カツが大

つくりと全身を伸ばし、首の運動から始めます。

肩を前後に大きく回してのストレッチ、手足を揉みほぐしての入浴を15年続けています。

食事はお嫁さんの恵子さんが作られています。焼鮭と味噌汁、手作りの漬物は欠かさないそうです。

趣味は農業と話されるあや子さん。野菜作り、草取りと5月には田植えの準備で忙しくなります。いつまでも健康寿命でお元気に。

好物です」と娘さんが話されました。お顔もつややかで若々しいきくえさん、益々お元気で娘さん達とお幸せに。



平成26年度 人事異動及び 新規採用職員紹介

平成26年度より、人事異動に伴い事務局長が新たに就任となりました。

また、地域活動支援センター指導員として新規採用となった嘱託職員です。よろしくお願いいたします。

事務局長

五町 義徳



嘱託職員

地域活動支援センター

鈴木 由美子



目次

- 福祉体験学習 1
- 福祉体験の感想 2
- きらっと生きる 3
- つくしの四季 4
- 地域ケアシステム公開講座 4
- 在宅福祉サービス研修会 4
- 新規サロン紹介 5
- 高ク連カラオケ大会 5
- 手話を学ぶ 6
- しるさと 6
- 社協の仕事 7
- シルバー人材センターからのお知らせ 7
- わが町のさわやか元気さん 8
- 新規採用職員紹介 8
- 目次・編集後記 8

編集後記

小生は、今の季節が1年のうちで一番すきだ。山の緑と田畑の緑。そしてその緑の上を渡ってくる柔らかな風。その気持ちのよさに誘われて体を動かしてみると少し汗ばんでくる。その時の気分がまたいい。服装も明るい色が多くなり、それと共に心も軽くなる。上を見上げれば青い空に真っ白な雲。なぜか、なぜだか自然と口笛を吹きたくなってくる。いいな。

(わ)